

10月15日兵庫県高校サッカー選手権大会1回戦が行われ、本校は神戸科技高校と対戦しました。9月の県リーグ参入戦に



続いての対戦となります。前半は0-0で凌ぎ、勝負のかかった後半、相手の執拗な攻撃をゴールキーパーを中心に防いでいたのですが、エリア内で倒したとの判定から相手にPKをとられ、高島選手はよく反応しましたがゴール隅に決められ先制されると一気に流れが相手に傾きました。それでも果敢に攻めてシュートを放つのですが、相手キーパーの正面に行くなどゴールを上げることができず、結局0-3で敗戦。残念な結果になってしまいました。一部の3年生はここで部を退くこととなります(県リーグ参入戦に出場する3年生もいるようなので)。最後まで本当によく頑張ってくれました。お疲れ様でした。1、2年生はこの悔しさを胸に、それぞれができることをしっかりやって次に向かってください。よろしくお願いします。

また10月15日神戸新聞運動面には先日のとちぎ国体で日本高校新記録をマークして優勝した山口選手が写真入りで掲載されていました。ハンマー投げにおいて従来の記録を66cm更新する「68m99」をマーク。その表示板の横での記念撮影と投擲の瞬間の写真2枚が掲載。取材内容も含めて、国体の翌日には掲載されなかった内容もありました。「兵庫から投てき界の新星」という素晴らしい見出しで書いていただきました。今後の活躍に期待がかかりますが、その期待を力に変えて頑張ってくれと思います。

16日は前から気になっていた施設に行ってきました。それは、神戸市立湊山小学校跡地に造られた「みなとやま水族館」です。館内の写真を載せることはできませんが、2階体育館にはFOOD HALLがありカレーや、リンゴのスイーツを食べることができたり、ビールを飲むことができたりします。それらは、かつては給食室であったであろう建物を利用して作られたり、体育館で作るところを見ることができたりします。水族館は児童の椅子を使ってしばらく眺めることができ、水槽に入った生物をじっくりと見ることができ、とても癒やされる空間でした。また、玄関先ではマス釣りをできる池があり、水族館横には児童館やカルチャーセンター、ハーブセンターの入った北館があり「NATURE STUDIO」として活用されていました。少子化により小学校の合併が相次ぐ中、その跡地利用は地域で考えて行かねばならない問題です。放置されて草ぼうぼうのグラウンドを見るととても悲しい気持ちになりますが、このようにある企業が積極的に参加してリノベーションを図り、素晴らしい水族館としてオープンしているのを見るととても嬉しい気持ちになりますし、そこで随分と癒やされた気持ちになります。以前いた学校でも地域活性化を提案する課題研究授業をするために岡山県西粟倉村の林業の町に行き、薪ストーブの普及や建物を木造にする取組など、町ぐるみの地域活性に取り組む姿を見ました。そこでも小学校跡地で山の中なのに「うなぎ」の養殖を始めたり、地酒の販売をしたりする地域活性化事業を展開して活用をされている姿を見て、人口減に悩む地域への人の流入を図る方法を学びました。また全国募集の走りとなった島根県隠岐島前高校の「島留学」で集まってきた高校生の活躍により起業による島の活性化に結びついたことで、高校自体がその拠点となった例を学びました。その高校では自らクラウドファンディングで資金を集め海外短期留学し成果を上げた生徒もいるなど島の活性化に一役買いました。現在は定員割れの続く学校から希望者が増え、倍率が付くまでになっています。小学校跡地のリノベーションを図るには企業の協力も必要です。地域を巻き込み、みんなで考え、協力していくことで、前号でも書いた地域活性は進むと思います。本校でも地域の魅力発信に向け生活科学科の地産地消食材を活かした商品開発だけでなく、地域の現状把握や課題解決に向けた提案など高校での学びを活かし、地域からの学びを深め、探究活動を深めることができれば良いと思っています。地域の方々のご協力をお願いいたします。



新型コロナ新規感染者も下げ止まりが続いており、増加傾向に転じる可能性もあります。密を避ける、換気する、マスク着用など個人でできる感染防止に努め、中間考査での学びの定着に全力で取り組んでください。

